

I. 事業の実施内容

令和4年度の社会環境は、長引くコロナ禍に加え、世界情勢の悪化からあらゆるコストが高騰し、中でも期中で乳価改訂が行われるなど、物流のラストワンマイルを担う牛乳販売店としても、多大な影響が避けて通れない状況下におかれた。

このような状況の中、ウィズコロナ時代に向けて、実施事業は計画に沿って推進すると共に、諸会議等は状況に応じて安全を確保した開催方法による運営に努めた。

1. 加盟店サポート事業

(1) ミルクカレンダーの制作・斡旋事業

①内容：料理研究家 和田明日香氏の監修により、牛乳の料理への利用をすすめるため、「いつもの料理に牛乳プラス あの定番おかず、牛乳入れてみた」をテーマに12のレシピを紹介し、合わせて牛乳の栄養とその効能を解説することで、食生活の改善、健康増進、そして牛乳の消費拡大につなげる取り組みとした。

構成は、宅配による牛乳の継続飲用による健康効果などを伝えるとともに、各月に特殊詐欺などへの注意メッセージを盛り込み、宅配利用顧客への注意喚起を行っている。

カレンダーの企画・制作および流通は全改協が独自に行い、日付欄の書き込みスペースを大きくして欲しいとの要望にも応える構成とし、都道府県流改協、地方普及協会を窓口として斡旋した。なお、用紙をはじめ原材料の高騰により制作費の値上げがなされたが、市場環境を考慮し、斡旋価格は据え置きとした。

②時期：令和4年5月～12月

③実績：発行部数 986,040部

発行売上 40,350,200円（送料、店名印刷代を含む金額）

各都道府県別発行部数（窓口は流改協、普及協会等）

都道府県	発行部数	都道府県	発行部数	都道府県	発行部数
北海道	44,050	新潟	49,300	岡山	24,100
青森	9,000	富山	12,000	広島	30,620
岩手	12,400	石川	15,720	山口	19,100
宮城	23,050	福井	5,000	徳島	18,010
秋田	10,700	岐阜	13,250	香川	6,230
山形	19,600	愛知	28,300	愛媛	19,870
福島	13,400	三重	25,100	高知	*9,400
茨城	*8,600	静岡	*26,600	福岡	38,900
栃木	15,100	滋賀	14,900	佐賀	10,250
群馬	21,450	京都	21,000	長崎	6,250
埼玉	6,450	大阪	21,150	熊本	30,090
千葉	51,100	兵庫	44,600	大分	9,600
東京	40,200	奈良	4,200	宮崎	*13,100
神奈川	35,900	和歌山	6,700	鹿児島	10,400
山梨	*15,300	鳥取	*79,100		
長野	21,800	島根	*25,100	合計	986,040

（流改協組織がない*印の各県は牛乳普及協会等を経由して利用）

(2) 食品等流通合理化緊急対策事業

加盟店の設備・機器導入費用の軽減を図るため、公益財団法人食品等流通合理化促進機構の「食品等流通合理化緊急対策事業」を活用するよう案内した。

今年度は、利用実績の多い冷蔵庫、保冷車など配達車両の更新、新規導入に対する制度利用をすすめたが、年度内での実績はなかった。利用申請から認定までには約1ヶ月程度の期間が必要であり、計画的な制度の活用を引き続き推進していく。

(3) 研修支援

加盟店の経営品質向上のため、経営に直結する各種法令や公的制度の理解と対応についての説明及び研修資料を提供した。

提供資料：

- ・ HACCPに沿った衛生管理（音声解説付）
- ・ インボイス制度の理解のために
- ・ 適格請求書保存方式 消費税制度対応はまず事業者登録から
- ・ インボイス対応のタイムリミットに向けた総点検
- ・ 牛乳販売店のSDGsセルフチェックリスト

2. 牛乳販売店の優良事例発表および表彰事業

本年度はコロナ禍による行動制限が解除され、3年ぶりに会場での発表会開催となった。審査は、マーク団体から推薦を受けた加盟店に対し書類による一次審査を行い、発表候補店として6店を選出した。その候補店に経営専門家が訪問調査を行い、調査結果に基づく二次審査によって候補店6店すべてを発表会出席店とした。

発表会では、各店の発表内容に基づいて中央審査会を行い、中央審査委員の審査により、最優秀賞 農林水産大臣賞以下各賞を選び、表彰を行った。

各賞に輝いた入賞店の取り組みは、人口減少による過疎化、労働者不足、人件費や燃料費の高騰など、牛乳販売店を取り巻く環境が極めて厳しい状況の中、高齢化による宅配ニーズや、健康に対する意識の高まりをチャンスと捉えて、セミナーへの参加や見守り活動など、地域とのつながりを深めることよって成果をあげるなど、地域密着を旨とし、お客様満足を意識した経営努力が共通しており、実施可能なサービスの提供を踏まえた経営は、全国の加盟店の参考になると共に励みにもなる内容であった。

各店の取組内容は、発表会の動画と共に全改協ホームページに掲載して共有を図った。

①一次審査・二次審査委員

小畑秀之（経営専門家） 窪田靖生（経営専門家） 石川明湖（経営専門家）
木納雅康（全改協会長） 白羽恵司（全改協副会長） 宮寄貴浩（全改協副会長）
家村正則（全改協専務理事）

②中央審査委員

荒川宏行(Jミルク常務理事) 佐南谷英龍(食流機構専務理事) 小畑秀之(経営専門家)
 木納雅康(全改協会長) 白羽恵司(全改協副会長) 宮寄貴浩(全改協副会長)
 家村正則(全改協専務理事)

◇第34回各賞入賞店

賞	地域	受賞店名	代表者
最優秀賞 農林水産大臣賞	佐賀県	株式会社鶴田乳業	鶴田 勘治
優秀賞 農林水産省 畜産局長賞	大阪府	NPO法人JSBデイリーサポート 健康森永 箕面池田店	北村 眞隆
優秀賞 一般社団法人 Jミルク会長賞	千葉県	株式会社STS	三溝 誠
優秀賞 一般社団法人 全国牛乳流通改善協会 会長賞	山形県	有限会社鳥海ハーモニー	池田 幸太郎
優秀賞 一般社団法人 全国牛乳流通改善協会 会長賞	東京都	雪印メグミルク清富士販売店	紺野 亘洋
優秀賞 一般社団法人 全国牛乳流通改善協会 会長賞	福岡県	森永太宰府ミルクセンター	福井 正登

3. 事業会議（地区別会議）

総会終了後、今年度事業の詳細説明を目的とし全国5ヵ所で開催した。なお、コロナ感染の状況を鑑みて終了後の意見交換会は行わず、会議において意見・要望の聴取に努めた。

①開催場所と日時

- ・東京6月15日（水） ・仙台 6月17日（金） ・福岡6月22日（水）
- ・大阪6月23日（木） ・名古屋6月24日（金）

②出席対象

- ・都道府県流改協事務局、加盟マーク協会役員、メーカー担当者及び全改協役員他

4. 広報関連事業等

(1) 機関紙「全改協だより」

全改協事業の内容を加盟店に周知し、販売店経営に関係する酪農乳業の各種情報、牛乳乳製品に関する情報及び経営の円滑化を図るための資料や情報、特に経営改善のための各種公的助成制度の内容を掲載した。

加盟店への迅速・確実な配布のため一部メーカーの加盟店との通信ネットワークを活用したデータでの配信方法を確立した。

第99号（8/17） 第45回通常総会の報告、令和4年度事業概要、地区別会議開催報告

第100号（11/18） 政府等助成金・支援策、インボイス制度への対応、道路交通法改正

- 第101号（1/1） 新年ご挨拶、令和4年度全改協事業について、寄稿・インボイス制度
第102号（3/20） 第34回牛乳販売店優良事例発表について

(2) ホームページの充実による広報活動

加盟店及び関係先に対する情報の周知、ならびに提供の迅速化を図るためホームページのリニューアルを行い、関連情報の掲載とともに、加盟店の経営に役立つ資料や各種制度の対応書式が利用しやすいよう改良を行った。

(3) 関係団体との連携

酪農乳業界の一員として関係団体と常時連携をとり、各団体の実施事業への参加および情報交換、協議、検討を行った。

①一般社団法人Jミルク

正会員として理事会、マーケティング専門部会に担当役員が出席した。

Jミルク事業の生産流通事業への理解と学術調査関連事業による知見の活用、農水省一体での需要創出事業への積極的参加等に取り組んだ。

生乳需給の大幅緩和への対応には、消費拡大に向けた取り組み方針を加盟店と共有するとともに、農水省とJミルクによる「スマイルプロジェクト」に参加登録し、牛乳を多く使った料理レシピを掲載したミルクカレンダーを制作し、これを、生乳需給が緩和する年末年初の時期に加盟店が配布した。また、学校給食のない日にも家庭での飲用をすすめることで、子どものカルシウム不足に対処した「土日ミルク」の企画の周知と提供コンテンツの活用による需要創出に取り組んだ。

②公益財団法人食品等流通合理化促進機構

理事として理事会に出席し、他業界団体との交流に努めるとともに、実施事業への参加および制度利用を推進した。

- ・同機構主催の「優良経営食料品小売店等表彰事業」には、当会の第33回優良事例表彰店から2店を推薦し、それぞれ各賞を受賞した。

*受賞店と各賞

- 1) 滋賀県 有限会社一実牛乳……公益財団法人食品等流通合理化促進機構 会長賞
- 2) 北海道 株式会社スギヤマ……公益財団法人食品等流通合理化促進機構 奨励賞

5. 総務関連

*効率運営の改善

- ・理事会のリモート開催および外部団体会議へのリモート出席等、効率化を図った。
- ・役員宛会議開催通知はメールを基本とし、資料を含めペーパーレス化を進める。

6. 組織活性化対策

担当役員を中心として組織の活性化と効率運営に向けた現行組織、事業、仕組みの見直し等を目的とし、3つの検討会議を立ち上げ、各会議からの提案について、理事会にて協議を進める仕組みをスタートした。

①組織改革委員会

都道府県流改協の活性化と加盟店減少への対応策等、全改協組織の見直しを行う。

②既存事業の見直し

優良事例発表事業およびミルクカレンダー制作・斡旋事業の見直しにより、加盟店の参加や活用がしやすい内容への変更を協議する。

③その他事業の検討

全改協が行う事業の整理と検討を行う。

以上

令和4年度 主な会務・事業等の概要

【全改協】

令和4年	4月22日	監事監査
	5月6日	第1回理事会
	6月10日	第45回通常総会
	6月15日	地区別会議 東京
	6月17日	地区別会議 仙台
	6月22日	地区別会議 福岡
	6月23日	地区別会議 大阪
	6月24日	地区別会議 名古屋
	7月15日	第2回理事会
	10月7日	牛乳販売店優良事例第一次審査会
	11月18日	第3回理事会
	12月9日	牛乳販売店優良事例第二次審査会
令和5年	2月3日	第4回理事会 (Web会議)
	2月17日	第34回優良事例発表会
	3月10日	第5回理事会

【Jミルク】

令和4年	5月18日	監事監査に担当役員Web出席
	5月27日	第1回理事会に担当役員出席
	6月14日	通常総会及び第2回理事会に担当役員出席
	9月21日	第3回理事会に担当役員出席
	9月12日	第1回マーケティング専門部会担当職員Web出席
	11月29日	第4回理事会に担当役員出席
令和5年	1月27日	第5回理事会に担当役員出席
	2月22日	第6回理事会に担当役員出席
	2月8日	第2回マーケティング専門部会担当職員Web出席
	3月15日	第2回臨時総会に担当役員出席

【乳業団体】

令和5年	1月6日	合同賀詞交歓会 出席人数を絞り実施
------	------	-------------------

【食品等流通合理化促進機構】

令和4年	6月6日	第1回定例理事会に担当役員出席
令和5年	3月3日	第2回定例理事会に担当役員出席

以上